



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION Y'S MEN'S CLUBS
REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区



JAPAN WEST

CHUBU

部長通信 8号 (4月 5月合併号)

中部部長 荒川 文門

3月、4月に実施されました中部の諸行事について御報告します。

1. 評議会報告 (3月20日 12:30~14:00)

3月20日に名古屋YMCA代官町会館にて開会されました評議会の報告です。

第1号議案 今年度上半期事業報告

各クラブ、各事業からの報告に基づき諸報告がなされました。

第2号議案 次期中部部長、及び部会ホストの確認

金沢犀川クラブの平口哲夫ワイズ及び部会ホストクラブとして金沢犀川クラブを確認。

第3号議案 次期中部役員承認

平口哲夫次期部長の提案通り全員承認されました。

第4号議案 次期中部部会の日取り、場所が提案通り承認されました。

日時：2013年8月31日(土)

場所：金沢都ホテル

第5号議案 次々期中部部長及び部会ホストクラブが提案通り承認されました。

次々期中部部長 大西 博昭(四日市クラブ)

次々期部会ホストクラブ 四日市クラブ

第6号議案 中部部費改定の件

現行年一人2,000円を3,000円とする。

提案理由 1. 中部の活動をより活発にするため。

2. メンバー数の少ないクラブから部長を出すとクラブとして部長を支え切れな
い。部会参加、公式訪問の交通費など部長としてかなりの費用が掛る。

等の提案理由が説明され承認されました。

部則について 西日本区定款の改定に伴い中部部則の改定の是非を検討しましたが、当座このままで支障は
なさそうなので、このまましばらく様子を見る。

など熱心に討議されました。

2. STEP報告会

今年度STEPでケニアへ研修をされた大西慎一郎君(四日市クラブ 大西博昭ワイズのコメット)の報告会を石田由美子事業主任をお迎えし評議会に続いて行いました。大西君は11週間にわたり、ケニヤナイロビYMCAを中心に研修し大きな成果をあげました。STEP自体この何年か利用されていなく、いわゆる開発途上国、特にアフリカには初めてのことでした。アフリカと日本の関係にもかなり深い理解をし、個人的にも、YMCA的にも、国と国との関係においても理解が遠くになりがちな、ケニア、タンザニアの現況を踏まえ、映像と知的な報告を受け、STEPの重要性を改めて実感できました。ワイズに関わる若い人たちがこのような制度を利用し、世界に出来大いに見分を深めて貰いたいものです。後日詳細な報告書が出るよう計画中です。

(参加者50名)

3. YYフォーラム報告

3月20日、評議会、STEP報告会に続いてYYフォーラムが開催されました。テーマは昨年に続き震災復興の取り組みでしたが、綿密に計画され発言にも感動的なものも多くあり素晴らしい会でした。下村事業主任自らも松原主査、鈴木一弘（東海クラブ会長）らと共に計画段階から加わり、仙台からのワイズ、福島からのパネラーなどの招聘に努力されました。
(参加者80名)



4月に入り、9日に名古屋クラブのメネットナイトに参加しました。プログラム、食事等一切をメネットさんが仕切り、食事は手作りの持ち寄り出とても美味しく心温まる例会でした。名古屋クラブのメネットの皆さんの元気さに感動しました。

13日14日と大阪で第3回役員会が開催されました。成瀬理事が天に召され最初の役員会のため、ちょっと何か変わった感じの役員会でした。改めて成瀬さんのご安寧を祈ると共に成瀬さんの偉大さに気付かされました。

14日役員会を少し早目に米村EMC事業主任と共に中座し、名古屋へ戻り代官町会館でのEMCワークショップに参加しました。ワークショップは、米村主任作成のワークシートを使用し、まず自クラブの現状を把握し、問題点、伸びる点等を見つけそれについてクラブ内の意見をまとめるもので非常に興味ふかいものでした。

(約40名参加)

18日、金沢クラブの例会に参加しました。この日のプログラムは元北陸放送のアナウンサー氏の言葉に関する卓話でした。普段あまり気にしない言葉の面白さ、大切さ、コミュニケーションの道具としての役割について色々考えさせられました。卓話にもましてこの日のプログラムのもう一つの行事は入会式。それも一人ではなく3名も一緒に入会されるという画期的なものでした。今期金沢クラブは、二名のメンバーを天に召される不幸がありましたが、それをも一挙に補う入会式でした。金沢クラブは、仙台広瀬川クラブとのDBCを東日本区大会で調印する計画をされていて、目下飛躍中のクラブです。

